

JSPSひらめき☆ときめきサイエンス～KAKENHI～
土の粒子から農業や環境の歴史を科学する

開催日 令和2年10月26日(月)、10月29日(木)
参加者 中学生28名(26日:19名、29日:9名)

土に含まれる植物に起源する粒子(プラント・オパール)の抽出から観察までの一連の実験を通して、歴史を科学的に研究するという方法を学んでもらうプログラムです。

また、この方法を用いて、国内外で行われている最新の研究情報もあわせて紹介しています。

平成22年から毎年、当館内でほぼ終日で開催していましたが、本年度はコロナウィルスの感染対策の観点から内容を見直し、近隣の中学校2箇所(宮崎学園中学高等学校、宮崎第一中学高等学校)に講師と実施協力者(アシスタントの大学生)が赴き、顕微鏡観察を中心とした2時間程度のプログラムを実施しました。

詳しくは、ひらめき☆ときめきサイエンスのホームページ(<https://www.jsps.go.jp/hirameki/>)をご覧ください。



学芸員養成支援(博物館実習)

当館では、本学学生が、博物館や美術館等で働く専門職員である学芸員の資格を取得するのに必要な、いくつかの講義と実習を実施提供しています。

なかでも博物館実習は、学内で行う「博物館実習I」と学外の一般館で行う5日以上の館務実習である「博物館実習II」の2つから構成されており、学生にとっては、本学の学芸員養成課程で学んだ知識や技術を生かす総仕上げの実習となっています。

当館は「博物館実習I」を分担しており、学生は、博物館の管理・運営など基本となる内容をふまえ、動植物の収集・分類・標本の作製といった基本的なスキルから、来館者への館内ガイドといった接客業務まで幅広い内容を学びます。

今年度は、コロナ禍の影響を大きく受けましたが、学生15名が無事に実習に取り組むことができました。

Agricultural Museum NEWS

2020
NO.42

令和2年度企画展示

「大地と森と海の恵みを科学する フィールドセンター」展



ご来館されるお客様へご協力をお願い

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館の際に学生証・職員証(学外の方は来館者記入表の記入)が必要です。また、ご入館ご見学にあたって、以下の3点にもご協力下さい。

- ①入館の際はマスクを着用し、咳エチケットに気をつけてください。
- ②入館する際には、出入りに設置した消毒液で手指の消毒を行ってください。
- ③館内では3密(密閉・密集・密接)状態を回避してください。(ソーシャルディスタンスの確保)

ご不便をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、状況により急遽、休館とさせていただきます。ご迷惑がございませんようご承知ください。

なお、以下に該当する場合は、入館をお断りしております。何卒、ご了解下さい。

- (ア) 来館前に体温の確認を行い、発熱(37.5℃以上)があった場合。
- (イ) 風邪症状のほか、息苦しさ、倦怠感、味覚・嗅覚異常などの症状があった場合
- (ウ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (エ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ滞在(経路含む)した場合並びに当該地域等の在住者との濃厚接触がある場合

大学へのアクセス・利用案内



宮崎大学農学部
附属農業博物館

開館 月～金 [9:00～16:00]
※土日祝・年末年始は除く
入館料 無料

発行所 宮崎大学農学部附属農業博物館
発行日 2021/2/22

〒889-2192 宮崎県宮崎市園木花台西1-1
TEL/FAX 0985-58-2898



宮崎大学 農学部
UNIVERSITY OF MIYAZAKI

宮崎大学農学部 附属農業博物館

HP: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/museum/>



木花フィールド

宮崎大学木花キャンパス内にあり、学部の教育、研究に利用されています。木花フィールド内には、ライスセンターやハウス、農業機械が備えられ、水稲、根菜類、露地・施設野菜、果樹、花きが栽培されています。生産した農産物は、学内販売を中心として、一部は市場に出荷されています。

また、教育の場として企画実習、実践実習など「栽培のできる学生」を育てるカリキュラムを多く取り入れています。



住吉フィールド

宮崎市の北、木花キャンパスから約 21km の海岸線近くに位置する、国内最大級の大学附属の牧場で、牛と豚が飼養されています。住吉フィールドには、和牛繁殖・子牛育成・肥育ならびに酪農・乳加工施設があり、養豚教育も行っています。

また、宿泊施設を備え、利便性の良い場所に所在するため、平成 25 年度より文部科学省教育関係共同利用拠点「九州畜産地域における産業動物教育拠点」として、他大学の教育にも活用されています。



田野フィールド

宮崎県内の 3 つの地区（田野、大納、崎田）から構成され、全体で 620 ha の森林を所有しています。

中でも田野地区は、木花キャンパスにもっとも近く、面積も広い（約 501ha）ため、農学部の実習はほとんどの地区で行われています。

標高 100 ～ 300m の丘陵地にシイ・カシ類やタブノキなどによって構成される暖帯性の常緑広葉樹林が広く残存し、また、ヒノキの壮齢林分など、学術的価値の高い針葉樹人工林も大切に管理されています。



延岡フィールド

宮崎市の約 100 km 北に位置する延岡市赤水地区に所在しています。目の前には海が広がっており、この宮崎沿岸の多様な海洋生態系や水産現場を活用した学生教育と研究活動を行っています。

延岡フィールドには、学生実験室や研修室、宿泊室のほか、実習船や飼育設備が整備され、教育研究に利用されています。また、子供から大人までを対象に、海洋の魅力や水産業の大切さを発信する会貢献活動を展開しています。

フィールド科学教育研究センターは、農林畜水産業が展開されている耕地、森林、草地、海洋のそれぞれを担当する 4 つのフィールド（木花・田野・住吉・延岡）で構成されています。

これらのフィールドは、宮崎大学が位置する宮崎市だけでなく、県内各地に所在しており、さまざまな教育・研究・社会貢献活動が行われています。

大地と森と海の恵みを科学する

宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター Field Science Center, Univ. of Miyazaki



教育



飼料作物栽培の実習



ハウス内での実習



林床植生の調査実習

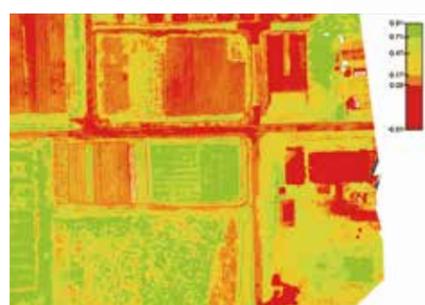


家畜飼養管理の実習



シュノーケリングによる観察

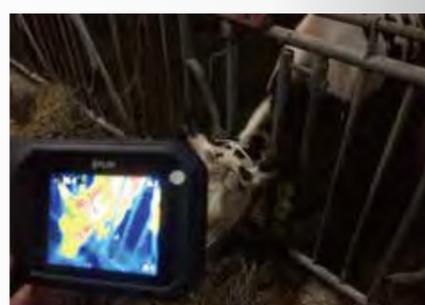
研究



木花フィールドの近赤外光利用画像 (NDVI)



土壌の呼吸を調べる (森林環境のモニタリング)



サーモグラフィーを使用した家畜の健康状態の把握



延岡市沿岸におけるアユ仔稚魚の資源に関する調査 (宮崎県水産試験場との共同調査)

社会貢献活動



芋掘り体験 (保育園・幼稚園・小中学校対象)



農場を利用した野菜栽培 (公開講座)



森林管理の技術向上を目指す技術研修会



酪農体験



延岡市まちなか水族館